



すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugl3sho>

平成29年3月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

未来を変える・未来を創る教育

校長 織茂 直樹

西暦2000年(平成12年)。柔道のヤワラちゃんこと谷(当時:田村)亮子選手や、マラソンのQちゃんこと高橋尚子選手がシドニーオリンピックで金メダルを獲得し「今年の漢字」は「金」に。「新語・流行語大賞」の年間大賞は慎吾ママの「おっはー」と「IT革命」。パラパラやキックスケーター、腰パンや厚底ブーツの流行、二千円札・新五百円硬貨の発行、BSデジタル放送の開始、都営大江戸線の全線開通、ストーカー規制法の施行、10代少年による重大犯罪の続発、有珠山・三宅島・北海道駒ヶ岳の噴火、鳥取県西部地震の発生(M7.3、最大震度6強)、小淵首相から森首相への交代…。調べてみると、今でも覚えている出来事がいろいろありました。15年以上前なので若干の古めかしさを感じるものの、「隔世の感」というほどではないと思うのは、私が時代の変化に鈍感だからでしょうか。

「IT革命」とは、インターネット・テクノロジーが世の中の仕組みを変えることを言い表した言葉です。この前年には、NTTドコモがメールの送受信やウェブページ閲覧などができる世界初の携帯電話IP接続サービス「Iモード」を開始しています。「ドットコムどこが混むのと聞く上司」というサラリーマン川柳が、当時の一般的な認知度を表していると思います。そういえば私が初めて携帯電話を持ったのがこの2000年でした。情報通信技術についていえば、この後、現在に至るまで、飛躍的に普及・発達して、時代の流れを大きく動かしてきたことが実感できます。

先月14日に文科省は、幼稚園と小中学校の「学習指導要領」改訂案を公表しました。意見公募を経て今月中に告示されることになっています。この新しい学習指導要領が見据えているのは、今から約15年後、2030年の社会です。私が冒頭で2000年を話題にしたのは、今から約15年後という年月のボリュームを考える際に、何らかの目安になると思ったからです。これからの15年間には、今までの時間感覚・時代感覚が通用しない、想像を超える大きな変化が訪れるといわれています。

新学習指導要領では、小学校高学年の「外国語科」導入や「プログラミング教育」による情報活用能力の育成、「主体的・対話的で深い学び」の実現(アクティブラーニングという言葉はこの表現に言い換えられました)等が話題になっていますが、私は、改訂の基本方針や理念にも目を向け

てほしいと思っています。ここで全部は紹介できませんが、「2030年の社会と子供たちの未来」と題する章には次のように記されています。

「社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきており、どのような職業や人生を選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっている。このような時代だからこそ、子供たちは、変化を前向きに受け止め、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが期待される」「いかに進化した人工知能でも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理であるが、人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができる。このために必要な力を成長の中で育んでいるのが、人間の学習である」「子供たち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要である」等々。

このように、人間が人間らしくあるために、人間ならではの力を発揮して、皆の幸福の実現を目指してよりよい社会・世界を創ることができるように子供たちを育てていくために、今回の改訂がなされた、ということが記されています。

将来の社会については、「2030年問題」という言い方で、危機的に語られることが多いようです。少子超高齢化の進行による人材不足やグローバル競争の激化により、様々な深刻な問題が引き起こされることが予想されています。専門家による現実的な見通しは傾聴に値すると思いますが、子供の教育においては、経済の物差しによる悲観的現実論ではなく、人間の物差しによる能動的理想論に軸を置いていきたいと思っています。

「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」(エリック・バーン博士:カナダの精神科医)。教育は自分と未来を変えるための営みだと思います。学校にも様々な課題がありますが、元気を出して頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者、地域、関係機関の皆様には、今年度も本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

平成28年度 3月 月別行事・時数予定表(3月)

杉並第三小学校

日	曜	朝	学校行事等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				授業	授業	授業	授業	授業	授業
1	水	第1	安全指導、午前授業 巣立ちの会	4	4	4	4	4	4
2	木	第2	※音楽朝会(1年生発表) 保護者会 (低13:40 高15:00)	4	4	4	5	5	5
3	金	第3	朝読書週間終、バイキング給食 見守り隊	5	5	5	5	5	5
4	土	第4	音楽発表会						
5	日	第5							
6	月	第6	クラブ11	5	5	5	5	5	5
7	火	第7	避難訓練(2校時)	5	5	6	6	6	6
8	水	第8	日時程	5	5	5	5	5	5
9	木	第9		5	6	6	6	6	6
10	金	第10		5	5	5	6	6	6
11	土	第11	土曜授業、(防災講話)	3	3	3	3	3	3
12	日	第12							
13	月	第13		5	5	5	5	5	5
14	火	第14		5	5	6	6	6	6
15	水	第15	日時程	5	5	5	5	5	5
16	木	第16	開校記念日						
17	金	第17		5	5	6	6	6	6
18	土	第18							
19	日	第19							
20	月	第20	春分の日						
21	火	第21	給食終	5	5	6	6	6	6
22	水	第22	午前授業、給食なし、大掃除(4h)	4	4	4	4	4	4
23	木	第23	修了式、卒業式予行	2	2	2	2	4	4
24	金	第24	卒業式					3	3
25	土	第25							
26	日	第26	春休み開始						
27	月	第27							
28	火	第28							
29	水	第29							
30	木	第30							
31	日	第31							
月合計				72	73	77	79	84	84

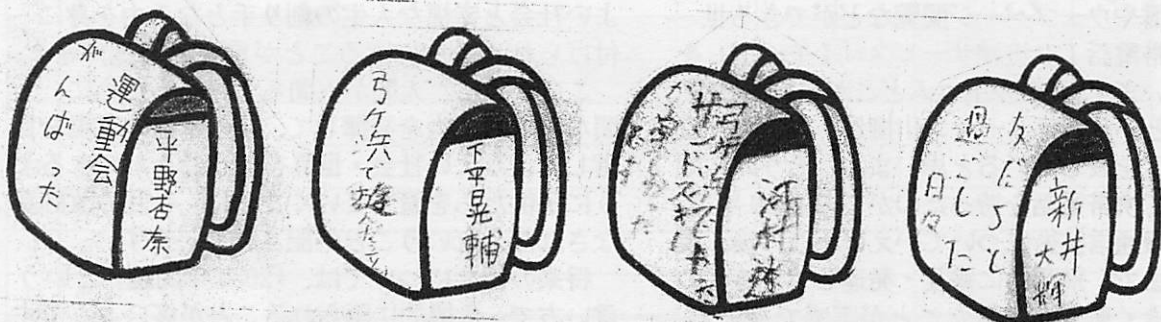
【朝】全校朝会 【第】第学習 【読】読み聞かせ

3月の生活目標 1年間のまとめをしよう

4月に始まった新しい学年も、この3月で修了です。今月はこの1年間のまとめをします。学習、生活ともに、自分の学年にふさわしい成長ができたか、学び残しはないかなど、自分自身や学級を振り返り、まとめの作業を行います。1年間仲良くしてくれたクラスや学年の友達には、再発見した相手の良いところを、ぜひ伝えましょう。最後に、教室をはじめ、学校を隅々まできれいにし、感謝の気持ちを表し、小学校を卒業、または学年を修了します。



杉三小の6年間の思い出



社会科見学に行ってきました



3年生 郷土博物館・善福寺川取水施設

- ・ぼくは善福寺川取水施設に行っているいろいろな話を聞きました。ぼくが話を聞いておどろいたのはトンネルの中に水が54万トンまで入るということです。(野尻礼音)
- ・ぼくは郷土博物館に行きました。郷土博物館でしてきたことは、古民家での火おこしや石うすで米をすりつぶす体験です。昔の人のくらしは大変だと思いました。(岡村凌成)

5年生 花王川崎工場、JFEスチール東日本製鉄所(京浜)

- ・花王の工場では、ロボットが製品を作るなど、工夫していることなどが知れて、とても勉強になり、製鉄所は、敷地がものすごく広く、熱い中でも仕事をしていて感動しました。(山口悠成)
- ・鉄を作る原料はオーストラリア、アメリカなどの外国から船で運ばれてきていることがわかりました。また、鉄づくりで使われる高炉で熱せられる鉄が、約1500度もあつてびっくりしました。(佐藤大造)

6年生 国会議事堂・昭和館・最高裁判所

- ・国会議事堂では、議長役をやってよい経験だったと思いました。(中村怜河)
- ・昭和館では、戦時中の暮らしや昭和のことがわかりました。知らなかったこともあったのでびっくりしました。(米谷萌花)
- ・国会議事堂も最高裁判所もとても警備が厳しくて国にとって必要な場所だということを感じました。(浅田琴巴)

縦割り班活動報告

1年生から6年生までが一つの班に集まり活動する縦割り班活動。今年は21班に分かれて、それぞれ高学年がリーダーとなって様々な活動を行いました。クラス・学年を超えた異学年の交流を通して、リーダーシップやメンバーシップが育まれ、高学年は自分の役割や振る舞いを学ぶよい機会になっています。今年度の主な活動は...



(色紙のプレゼント 6年生を送る会にて)

- 1学期...班の顔合わせをしてペア作り。4~6年生を中心に企画した「杉三子どもまつり」。
- 2学期...物づくり(変わり絵)。落ち葉掃き。
- 3学期...6年生を送る会に向けての準備。6年生を囲んでのお弁当給食・室内遊び。

この他にも、縦割り班で朝遊びをする機会もありました。2月23日(木)に行われた6年生を送る会では、お世話になった同じ班の6年生に色紙をプレゼントしました。また、その日のお弁当給食では、4・5年生が中心となって6年生を楽しませる企画をしました。手でアーチを作り6年生を迎えたり、机の配置を工夫したりと、班ごとに趣向を凝らして6年生との会食を楽しみました。班ごとに考えを出し合って準備を進める5年生の姿からは、「次は自分たちがリーダーになる!!」という自覚とやる気があふれていました。

学校公開 アンケート集計結果について（2／18） 14通

1 時間設定

- ・1時間目から参加できました。ちょうどよかったと思います
- ・授業とモラル教室が連続していてよかった。 ・都合に合わせて見る事ができてよい。

2 ICT 公開授業について

- ・ICTとはどういうものかと興味がありました。教室で映像を使っているところを見ましたが、これは前からも似たようなことをやっていたかなという感じに思いました。驚いたのはパソコン教室での授業でした。全てのPCを先生側で操作できたり、子供たちが自分たちで製作したりと時代を感じました。子供が「これ自分で書いたんだ」と持って帰ってきたことを思い出すと、こうやって作っていたんだということが分かりました。家でもPCが使えるわけだと納得です。
- ・画面を見ると、どこか箇所をやっているのか分かりやすく、ICTのよい点だと思います。
- ・ICTの説明をお知らせに書き添えるとよいと思います。杉三では、ICT授業でどのようなことをねらいにしているのか知りたいです。（単なるPC操作の体験ではなく、学校の授業で扱う意義のようなことについて）補助の方も多く、PCも1人1台利用できることは大変恵まれていると感じました。
- ・授業がテンポよく進み、クラス全員が集中して考えているように見えました。林業で実際に働いている方のインタビューなどを教室で見ることができ、文字から想像することが苦手な児童にとってより知識が深まるように感じました。

3 親子情報モラル教室について

- ・ネット関係はこわいので、学校でやってもらえると助かります。
- ・子供たちにも分かりやすく、その様子をうしろから見させていただき、一緒に勉強させてもらいました。家に帰ってからも、約束事などを話し合うことができました。
- ・まだ、スマホやゲームをもたせていませんが、大人でもやりすぎ、熱中してしまうものです。子供のうちからルールを決めるのが大切だと感じましたし、子供が納得するようなルールを作るのが守ることにつながるのだなと思いました。親の方も子供と話し合う機会になるのでこのような教室に参加させていただけるとはありがたいと思います。
- ・保護者としてネット時代の危険性を改めて考えるいい機会でした。子供をネットトラブルから守るのは親と子供のコミュニケーションが欠かせないと思います。まだ低学年でネットの利用は少ないが、これから意識しながら家族みんなでルールを作りたいと思います。
- ・もう少し少人数で講師の先生と意見交換ができる内容だったと思います。表面的すぎて残念でした。ロールプレイングを取り入れる等工夫がほしかった。また、保護者向けのテキストがほしかった。一言でフィルターが大切とおっしゃっていましたが、どういう方法が理想的か具体的に知りたかったです。モラル教室に参加できていない家庭も多いので、実際に子供が使うスマホ、タブレット、PCにフィルターをかけているかどうかのアンケートを取ると、保護者の意識向上につながると思います。

〇ご意見ご感想ありがとうございました。アンケートのご意見を生かして行きたいと思っています。